

ながとの風

長門市立深川中学校

校長室だより

2022.9.8 No.19

体育祭。最後まで全力でやり遂げる



9月3日（土）、8時30分から第76回となる体育祭を開催しました。一部の競技を削除したり、雨のために途中で中断したりしましたが、大きなけがもなく、無事に終了することができました。保護者の皆様には、足元の悪い中で長時間立ち見をしていただいて申し訳なく思うとともに、惜しみない声援を送っていただいたことを大変ありがたく思っています。

総合の部も応援も白分団が優勝という結果になりましたが、赤分団も青分団も、応援合戦

で息の合ったすばらしいパフォーマンスを披露しました。3年生のリーダーシップに感心しています。

最後の競技のリレーが終わった後、体育祭担当の山根友樹教諭が、私に次のように話しました。

「全校生徒がとてもすばらしかった。出遅れたり、負けそうになっても、手を抜かず、ふざける生徒もなく最後まで全力で取り組んでいた。」と。本当にすばらしい体育祭だったと思います。今年初めての体育祭だった1年生の「体育祭、どろどろになったけど、楽しかった」という声も届いています。

今週、体育祭の振り返りをします。生徒一人ひとりがどんなことを振り返り、どんな言葉を残すのか、とても楽しみにしています。

【校長室の窓から】

▼雨の中を走るリレーの選手の姿を見ながら、20年以上前に勤めていた学校の体育大会を思い出しました。右の文章は、21年前の平成13年2月18日、山口新聞「東流西流」のコーナーに寄稿したものです。▼当時は、誰かに指図されたわけではなく、テントから飛び出して、雨の中の校歌斉唱というすばらしい演出をした生徒たちの姿に心を打たれました。今は、コロナ禍により校歌を歌う機会も少ない生徒たちですが、今年度の体育祭でも、さわやかな感動をもらいました。▼学校には、いろいろな感動がひそんでいます。生活ノートの日記や授業中の発言の中にある小さな感動から、体育祭や

文化祭、卒業式などの大きな行事の感動まで実に様々です。生徒はそれらをしっかり味わいながら、一步一步着実に成長していきます。▼私たちも生徒と一緒に成長していく教職員でありたいと思います。

*本校では、昨年度まで「体育大会」という名称でしたが、今年度から「体育祭」と改めて実施しています。